

現代刀匠・二十六代藤原兼房の刀剣を 購入しました ～関鍛冶伝承館で展示公開中～

関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠会には、現在11名の刀匠が所属し、関地域において日本刀を作り続けています。

このたび、関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠会に所属する刀匠・二十六代藤原兼房の制作した日本刀を、購入しました。

購入した刀剣は、関で活動をする刀匠の作品として、関鍛冶伝承館内刀剣展示室に展示します。

《刀剣の概要》

種類: 刀 銘:(表)二十六代藤原兼房作
(裏)令和二年二月吉日
長さ: 71.8cm 反り: 2.1cm



《二十六代藤原兼房 略歴》

本名: 加藤 正文実

1978年4月24日

岐阜県関市に二十五代藤原兼房の長男として生まれる

2000年7月 父・二十五代藤原兼房に入門・師事

2002年3月 駒澤大学経営学部 卒業

2004年11月 靖国神社(東京都)にて親子三代奉納鍛錬を実施、後に脇指を奉納

2005年10月 美術刀剣刀匠技術保存研修会終了、刀匠となる

2007年6月 (公財)日本美術刀剣保存協会「新作名刀展」新人賞

2016年6月 (公財)日本美術刀剣保存協会「新作名刀展」努力賞



〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関市役所北庁舎 2階 産業経済部観光課 担当: 江西

TEL: 0575-23-7704 FAX: 0575-23-7741